

社会調査について
プログラム概要と資格との関連
『学習の手引き』 p17~18

奥井 亜紗子
(おくい あさこ)

社会調査プログラムの目的

- ・現代のビジネス・パーソンに求められるジェネリック・スキルの強化育成。

参) ジェネリック・スキルとは…

「知識活用力」「課題解決力」「コミュニケーション能力」「自主性・自律性」などの社会人として必要になる総合的な能力のこと。

→ **問題意識**を持って社会調査を**企画・設計**し、適切な方法でデータを**収集・整理**し**報告書作成**まで行う**一連のプロセス**を通じて、社会で働くうえで必要なジェネリック・スキルを強化育成します。

本学社会調査プログラムの概要

本学の社会調査科目はこれ！

	スキル科目 「調査」科目	プログラム科目	その他科目
	座学	実践	履修推奨
第1セメ (1回前期)			社会学アプローチ
第2セメ (1回後期)	社会データ処理基礎	←社会調査の基礎！	経営学アプローチ
第3セメ (2回前期)	社会データ分析入門 社会調査法Ⅰ	←統計解析ソフトのスキル習得 ←アンケート調査手法の習得	
第4セメ (2回後期)	社会データ分析実践 社会調査法Ⅱ	←統計解析ソフトのスキル習得 ←インタビュー調査等の手法の習得	
第5セメ (3回前期)	社会調査法Ⅲ	ソーシャル・リサーチⅠ フィールド・ワークⅠ	
第6セメ (3回後期)	↑ 高度な統計解析の 手法の習得	←企画実践の本番！ ソーシャル・リサーチⅡ フィールド・ワークⅡ	統計学

表の科目の単位全て取ることが（プログラム科目はソーシャル・リサーチⅠⅡ／フィールド・ワークⅠⅡどちらか1つ）、修了証の要件になります。

留意事項

1. 社会調査プログラムは積み上げ式！

…「**社会データ処理基礎**」の単位修得はプログラム科目の履修条件です。

…その他の「調査」科目もできるだけ多く履修し知識を付けたうえで実践のプログラムを履修しましょう。

2. ソーシャル・リサーチⅠⅡ、及びフィールド・ワークⅠⅡは複数のクラスから希望クラスを選択します（**2回生秋にクラス分け**）。

…演習内容（テーマ、実習先、費用負担etc）はクラスによって異なります。受講人数には上限があるため、必ず希望のクラスが受講できるとは限りません。

3. 社会調査プログラムに必要な「コミュニケーション能力」を学生生活で養おう！

社会調査を履修して取得できる資格

* 社会調査士

…一般社団法人社会調査協会の認定する資格。

…「社会データ分析実践」を除く本学社会調査科目。

…「ソーシャル・リサーチⅠⅡ」「フィールド・ワークⅠⅡ」のどちらか1つ選択。

→以上の単位を修得し、教務課を通じて卒業時に申請する。

■資格さえあれば就職が有利になる？！

・・・は甘い！！

プログラム修了証、社会調査士のどちらも就活の際、履歴書資格欄を埋めることはできます。

→どちらもアピールになるかどうかはあなた次第！

この学習を通して何を身に着けたのか、自分の言葉で説明できるようになろう。

社会調査プログラム担当教員

★中道先生

・・・ジェンダーと現代社会、地域社会学

★工藤先生

・・・ジェンダーと現代社会、文化人類学、多文化社会論

★嘉本先生

・・・国際結婚論、比較家族史

★森久先生（育休中）

・・・都市政策論、市民活動論、環境社会学

★奥井先生

・・・社会データ処理基礎、社会データ分析入門、家族社会学

★金子先生

・・・マーケティング論、社会データ分析実践

→社会調査プログラム担当教員の内容に興味がある場合は少なくとも「社会データ処理基礎」を受講しておくこと。またその教員の基礎演習Ⅰ、Ⅱ（演習ⅠⅡ）を1, 2年生のうちに履修することをお勧めします。

おわり